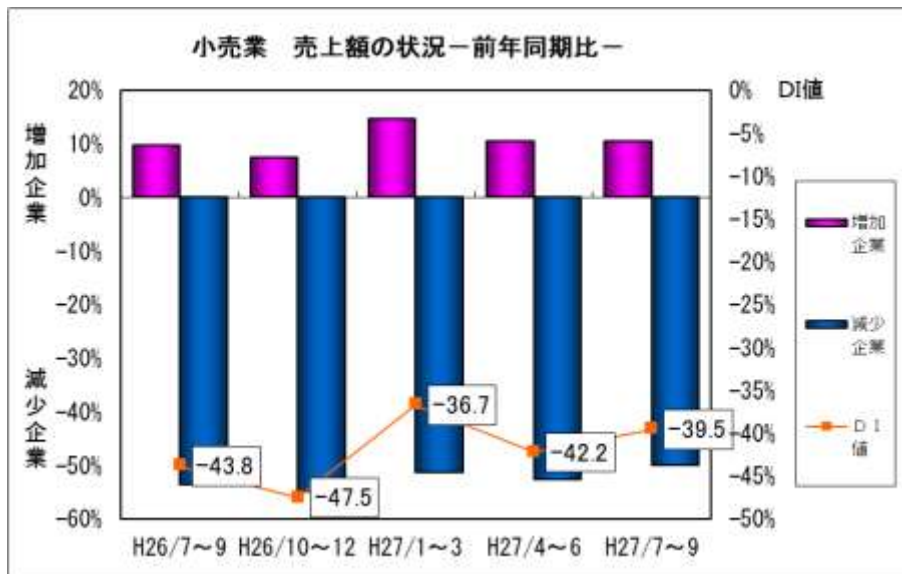


(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

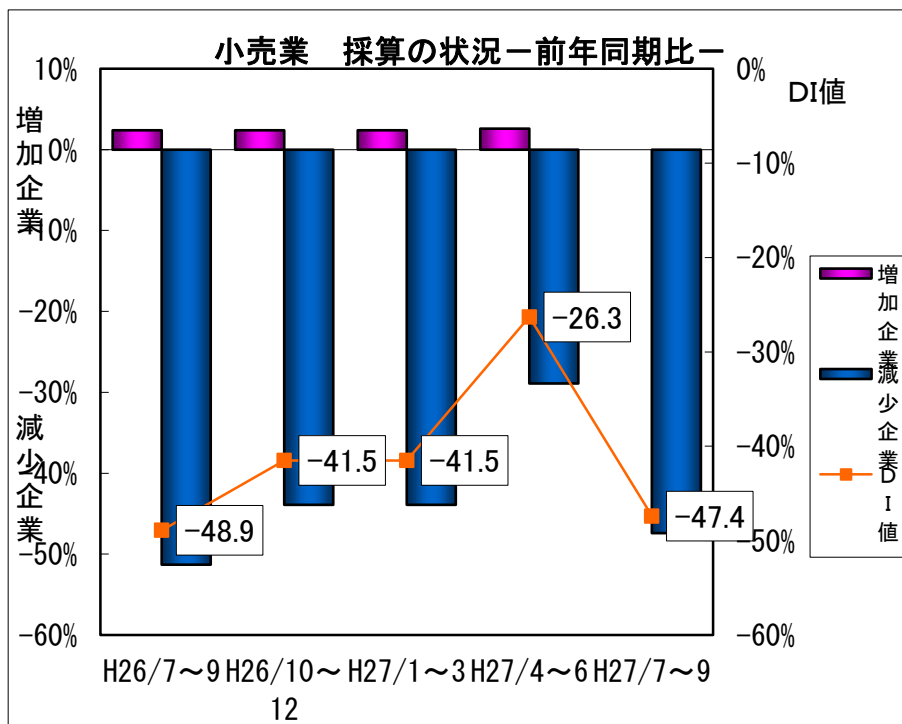
①売上額 (前年同期比)

今期の売上額D I 値は、マイナス 39.5。前期のマイナス 42.2 から 2.7 ポイント改善した。来期見通しは、マイナス 36.1 と改善の見通し。



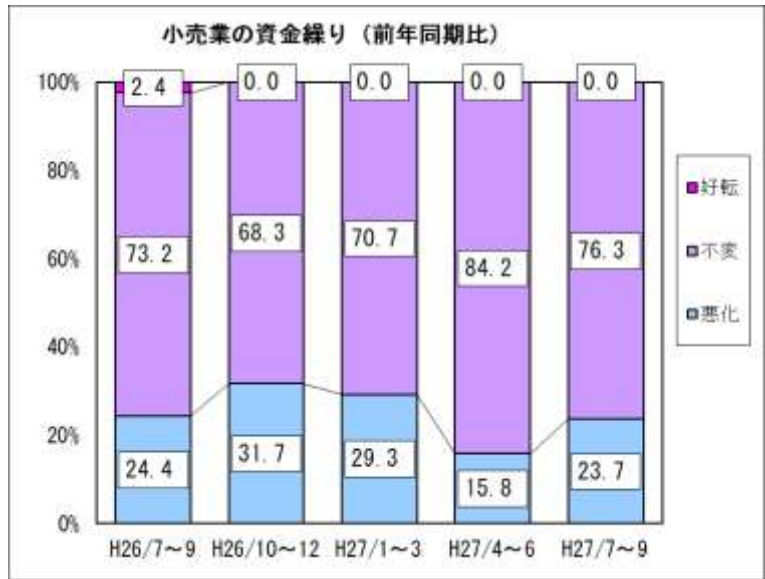
②採算 (前年同期比)

今期の採算D I 値は、マイナス 47.4。前期のマイナス 26.3 から 21.1 ポイントの下落となった。来期見通しは、マイナス 27.8 と改善の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 23.7。前期のマイナス 15.8 から 7.9 ポイント下落した。来期見通しはマイナス 22.2 と改善の見込み。

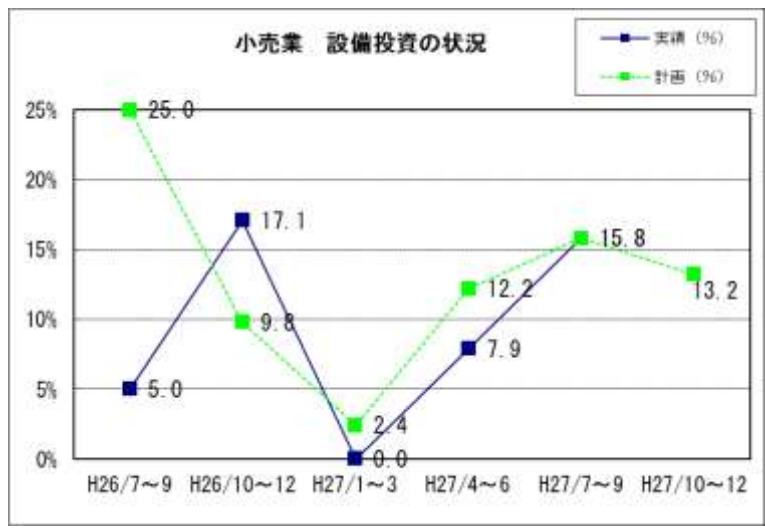


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	店 舗	販売設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	3	0	1	2	0	0	1	0	0	35
(%)	7.9	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	92.1
今期実施 (実数)	6	0	0	1	1	1	1	0	3	32
(%)	15.8	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	50.0	84.2
来期計画 (実数)	5	0	2	1	1	3	0	0	0	33
(%)	13.2	0.0	40.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	86.8

今期設備投資を実施した企業は 6 社（15.8%）。前期（平成 27 年 4～6 月期）の実施企業 3 社（7.9%）から減少。来期は 5 社（13.2%）が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、小売業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「購買力の他地域への流出」 (前期 43.2%→今期 52.8%)
- ・ 「需要の停滞」 (前期 40.5%→今期 41.7%)
- ・ 「消費者ニーズの変化」 (前期 48.6%→今期 30.6%)
- ・ 「大型店・中型店の進出による競争の激化」 (前期 29.7%→今期 30.6%)
- ・ 「販売単価の低下、上昇難」 (前期 10.8%→今期 30.6%)

となっている。

